



年 組 名前

道新 ワークシート



札幌市手稲区で見ごろを迎えているニホンスズラン(星野雄飛撮影)

漂う甘い香り 在来スズラン
手稲で見ごろ

札幌市内ではほとんど姿を消した在来種ニホンスズランが、札幌市手稲区の富

丘西公園で見ごろを迎えている。葉の陰に隠れるように白い花が咲き、初夏の風

に揺られている。

スズランは「札幌の花」とされるが、市内で咲くほとんどが外来種のドイツスズラン。ドイツスズランは葉より上で花が咲くのに対し、ニホンスズランは葉より下で咲くのが特徴。ニホンスズランはかつて市内各所で自生していたが、高度経済成長期の宅地開発に伴い徐々に姿を消し、市内で現在確認されている群生地は同公園のみとなった。

園内2カ所の計約1600平方メートルを保全区域とし、2004年からは近隣の富丘丸山町内会などが雑草取りなどの保全活動を行う。今年5月20日に開花し、6月中旬ごろまでが見ごろという。10年以上保全活動に携わる主婦 A さん(77)は「やさしい甘い香りが特徴的。葉の下で小さく花が咲いていてかわい」と話していた。

(矢野伶奈)

2021年6月1日(火)朝刊 札幌市内版 14ページ

- ①「ニホンスズラン」は、どのように咲いていますか。その様子が分かる一文の最初と最後の5字を書き抜きましょう。

					~					
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

- ②「ニホンスズラン」と「ドイツスズラン」を見分けるには、どこに着目すればよいでしょうか。

- ③この記事(札幌市内版)の見出しは、「漂う甘い香り 在来スズラン 手稲で見ごろ」となっていますが、地方版によっては、次のような見出しになっている記事もあります。あなたは、次のどの見出しがよいと考えますか。それを選んで、その理由も書きましょう。

- (ア) きれんな白色 初夏に彩り
 (イ) 初夏の風に香るスズラン見ごろ
 (ウ) 在来スズラン 涼やか鈴なり
 (エ) 漂う甘い香り*再来スズラン 手稲で見ごろ

見出し

理由